

## 令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立多摩高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長＝事務局長、主幹教諭1名、保健総務部主任1名、保健総務部員1名、計4名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、主幹教諭、主任教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、主任教諭(進路指導主任)、主任教諭(進路指導部)、主任教諭(保健総務部主任) 計8名
- (4) 協議委員の構成

日本大学文理学部総合文化研究室 教職センター教授	野内 頼一
青梅市民センター所長	藤井 卓
青梅商工会議所 地域振興課長	細川 卓也
青梅警察署少年係係長	長野 和彦
青梅消防署地域防災担当係長	高木 克彦
青梅市立青梅第一中学校校長	川窪 公夫
青梅市立西中学校校長	梅田 尚之
青梅市裏宿町一丁目自治会長	武石 昇
同窓会会長	栗原 一高
PTA 会長	古川 由美子

### 2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和5年6月21日（水）内部委員7名、協議委員6名  
協議委員委嘱、委員紹介、昨年度の学校運営連絡協議会の課題、本年度の学校経営計画、各分掌の組織目標、本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和5年11月28日（火）内部委員6名、協議委員6名  
学校経営計画実現のための教育活動に関する中間報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、中間報告の内容検討
  - 第3回 令和6年2月16日（金）内部委員6名、協議委員7名  
本年度の学校経営計画に関する報告、アンケート結果報告、各分掌の成果と課題  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校運営の内容検討  
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和5年11月28日（火）内部委員3名、協議委員3名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

第2回 令和6年2月16日（金）内部委員3名、協議委員2名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

#### （1）学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」

#### （2）アンケート調査の実施時期・対象・規模

対象	方法	実施時期
生徒 390 名	HR で概要を説明してから実施	12 月
保護者 159 名	アンケートアプリにて実施	12 月
教職員 34 名 管理職を除く	企画調整会議及び職員会議で趣旨説明してから実施	12 月
①地域住民 7 名	自治会長を通じて配布回収	1 月
②中学校 79 名	青梅第一中学校の2学期終業式に合わせ3学年で実施	12 月

#### （3）主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、部活動、安全防災、施設・設備、体罰、地域連携、ライフ・ワーク・バランス

#### （4）アンケート結果の概要 「とてもよく思う」「やや思う」の肯定的な回答の合算

##### ①生徒・保護者・教員

※詳細は別紙参照

小数点以下は四捨五入

質問事項	生徒	保護者	教員
学校での学習や生活は、充実している。	81%	90%	76%
先生は、協力して教育活動に取り組んでいる。	78%	90%	88%
授業は分かりやすい。	75%	85%	94%
学校での学習や検定試験などは自分の将来に役に立つ。	75%	93%	79%
読書の時間や放課後、読書月間等に本を読んでいる。	27%	66%	48%
社会に出て役に立つルールやマナーを適切に指導している。	65%	82%	68%
学校は、悩みやいじめに対応している。	57%	83%	91%
「キャリアデザイン」の授業など進路学習に取り組んでいる。	75%	92%	88%
先生は進路の希望に応じて適切にアドバイスをしてくれている。	75%	93%	88%
学校では、部活動が活発に行われている。	73%	81%	27%
学校では、学校行事が活発に行われている。	76%	92%	62%
健康管理や防災、交通安全指導の充実に取り組んでいる。	71%	92%	77%

敷地内や校舎内の清掃は行き届いている。	51%	74%	59%
学校は、体罰のない指導をしている。	78%	95%	100%
学校は、地域との連携に積極的に取り組んでいる。	76%	96%	91%
学校はライフ・ワーク・バランスの実現に取り組んでいる。	71%	93%	50%

## ②地域住民・中学生

質問事項	地域	中学生
本校生徒の登下校時のマナーは良いと思いますか。	29%	22%
本校生徒の身だしなみは良いと思いますか。	57%	31%
本校生徒は地域の皆様への言葉遣いや挨拶ができていますか。	17%	18%
自治会と連携して防災訓練や山林整備をしていることをご存知ですか。	100%	11%
本校生徒が地域行事に参加していることをご存知ですか	100%	20%
多摩高校は地域の要望に即応していると思いますか	57%	17%

## (5) 評価結果の分析・考察

### ①生徒・保護者・教員

「学校での学習や生活は、充実している。」という学校満足度を問う質問項目に対して、肯定的な回答が生徒で8割、保護者9割となっていた。この学校満足度の結果は「先生は、協力して教育活動に取り組んでいる。」「授業は分かりやすい。」という質問項目において、生徒、保護者ともに肯定的な回答の割合が高くなっていることと関連していることが示唆される。「学校での学習や検定試験などは自分の将来に役に立つと思う。」という質問項目では、肯定的な回答が生徒で約8割、保護者は9割以上と高くなっている。定期考査前の生徒の学習への取り組みは高くなっており、本校の生徒や保護者が、学習面に対して学校への期待が高いことが伺える。

「学校は、「キャリアデザイン」の授業など、3年間の計画に基づいた進路学習に積極的に取り組んでいる。」という進路に関わる質問項目で、肯定的な回答が生徒は約8割、保護者は9割以上となっており、本校の進路学習について、保護者の期待が高いことが伺える。本校の特色としている3年間を通した「キャリアデザイン」の授業が定着していることも示唆される。

社会に出て役立つルールやマナーを身に付けさせる指導について、保護者の肯定的な回答が8割以上と高い。生徒の肯定的な回答は学年が上がる程高い傾向があり、進路活動等をとおして、社会に出て役立つルールやマナーを身に付けていることの重要性を認識している生徒が増えていくことが考えられるが、地域アンケートにあるように一部の生徒では公共マナーへの意識が低いことが示されており、生徒への指導の徹底を行っていく。また、「悩みやいじめに対応している」という質問項目についても、学年が上がる程生徒の肯定的な回答の割合が高くなる傾向が見られる。

「学期末の読書の時間や放課後の時間、夏季休業の読書月間等に本を読んでいる」という質問項目については、昨年度に引き続き肯定的な回答が、生徒では3割以下と低くなっている。改善策として、図書室を活用した授業や、図書委員による読み聞かせ活動などの読書を推進する取組をしている。

今年度、新たに設定した「学校はインターンシップや森林保全活動、地域ボランティア活動への生徒への参加など地域との連携に積極的に取り組んでいる。」という地域連携の状況についての質問項目では、肯定的な回答の割合が生徒で約8割、保護者及び教員では9割を超える高い割合となっている。コロナ禍できていなかった青梅大祭や地域活動が再開し、生徒が地域ボランティア等で参加させていただく機会が増えたことが大きく影響していると考えられる。また、本年度は、文化祭や創立百周年記念式典において、裏宿町の皆様にはお囃子の披露や、歴史のある地域の展示など、厚いご支援をいただいている。生徒会活動や進路指導部と青梅市商工会議所と連携したボランティアへの参加推進活動も好影響を与えていることが推察される。

教員のライフ・ワーク・バランスについては、保護者連絡を夜間まで行い対応している教員も多く、生徒への個別の対応も増える傾向となっていることが大きく影響していると考えられる。

## ②地域住民・中学生

本校生の身だしなみや言葉遣い、挨拶についての質問項目については、地域の皆様、中学生からの肯定的な回答が低い割合となっている。教員が生徒に対して指導しているルールやマナーについて、生徒に自覚させることが必要である。保護者のご協力をいただきながら改善を図る。一方、地域連携については、生徒のボランティア活動をとおして地域の皆様へ認知されている。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・本年度の取組(センター指定校・スキルアップ講座・海外姉妹校の締結等)を説明するなどして、学校運営連絡協議会協議委員から、「本校がより良い学校、魅力的な学校になりつつある。」との理解を得られた。
- ・商工会議所との連携により、インターンシップの内容の充実や地域ボランティアの推進が出来た。さらに、地域の事業所が本校に求めていることを認識することが出来た。
- ・地域の事業所側の求めていることを踏まえ、進路指導及び生活指導に活かすことができた。

### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・進路に関わる保護者の期待は高く、将来の進路決定に役立つ「キャリアデザイン」の授業の更なる充実を図ることが課題であることが明らかとなった。

## 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

### (1) 学校運営

- ・保護者の学校満足度は9割と高い。生徒が学校の指導に理解をするためには、保護者と協働して生徒を本校が育成したい生徒像に近づけていく。

### (2) 学習指導

- ・1人一台端末を活用した授業実践の充実や基礎・基本の定着に役立つ動画の作成などで生徒の主体的に学びに向かう姿勢の育成を図る。

### (3) 生活指導

- ・通学路のマナー改善のための指導さらなる充実や社会の常識に合致した校則への見直しなどにより、生徒の規範意識の向上を図る。
- ・TPOに応じて、自ら考えて服装や行動を判断できる生徒の育成を図る。

### (4) 進路指導

- ・校内寺子屋を充実させ、多様な進路希望に対応した実施形態とすることで、生徒の学習への意欲を向上させる。
- ・スキルアップ講座を充実させて、資格の取得により、進路実現につなげていく。

### (5) 募集活動

- ・地域の中学校との交流活動や体験活動を実施することで、本校の教育活動を地域へ発信する。
- ・学校説明会の実施時期と回数を見直し、地域の中学生が来校できる機会を増やす。

### (6) 健康・安全

- ・地域と連携した防災訓練、避難訓練の継続により防災教育を維持し、更なる改善を図る。

### (7) ライフ・ワーク・バランス

- ・定時退庁日を設定するなど教員の超過勤務を緩和するための実効的な方策の検討、実施を図る。

## 6 「学校が良くなった」と考える外部協議委員の割合

### (1) 協議委員人数 9名（同窓会会長ご逝去により9名となっている）

### (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	2	1	0	0	0	0

## 7 その他

- ・保護者のアンケート回収率改善のため、回収方法を検討する必要がある。